



奄美群島日本復帰60周年記念

第14回 知名町

産業まつり

「より明るく、より美しく、
より豊かな町づくり」

第14回知名町産業まつり（隔年開催）が、11月23日、あしびの郷・ちなで開催されました。午前中はホールで式典があり、農業・商工観光・漁業等の各部門で町の振興に尽力された方の表彰や「おとうさんときび車」と題し、学芸の部の作文で最優秀賞を受賞した下平川小学校2年の木下しんきさんによる作文の朗読がありました。また、県農政課長の横山博一氏による「農を励ます」時処位」と題した講演があり、これからの農業のあり方や国の農業政策等についての話がありました。

午後からは、ホール前の駐車場で、知名町で生産されたシマ桑を使った「桑わんぐランプリ2013」（後掲）が開催されたほか、マグロの解体ショーや農産物市、パトカー・白バイの試乗など、たくさんのイベントが催され大盛況でした。

表彰（敬称略）

●特別表彰

【商工振興功労者】

長谷川千代子（下城）

【畜産振興功労者】

安田善吉（上城）

●農業・商工観光・水産・生活の部

【農業】

吉井明也（正名、たばこ部門）

勝馬英彦（芦清良、花き部門）

【農業生産集団】

知名町生活研究グループ連絡協議会
知名町花卉振興会

【商工業者】

原田喜久代（知名）

林 洋一郎（小米）

【漁業者】

西 富太郎（小米）

【学芸（作文）】

最優秀賞

木下しんき（芦清良、下平川小2年）

「おとうさんときび車」※下欄に掲載
優秀賞

武元愛華（正名、住吉小4年）

「よく働く親のすがた」

増原 重（新城、田皆中2年）

「憧れの母」



『おとうさんときび車』

「しんき、今日も行くか。今日もあつくなるぞ。」とお父さんが言いました。ぼくは、お父さんのきび車が大すきです。きび車にのつてきびに水かけをします。

今年は、夏休みになる前からぜんぜんえらぶには雨がふりませんでした。テレビのニュースにもなりました。お父さんのそだてているきびのはが、まい日のあつい天気です。いつもは「シュン」とがっているのに、今年は丸まってきたいました。お父さんはきびがかわないように、まい日あついい中、はたらいっていました。

まず、きび車にのつている大きなタンクに水をためます。タンクの水がいっぱいになったので、お父さんはきび車の上にのりました。ぼくもきび車にのせてもらいました。いよいよきびに水かけができます。お父さんは、ニコニコしていました。きびが、元気になるからうれしくなりました。

あとできびばたけのぬしのおじいちゃんとおばあちゃんが来ました。「お父さんの手つだいしているんだね。えらいねえ。」「ありがとねえ。」と言って、お茶やジュースをくれました。ぼくは、もらったらすぐのみました。

おじいちゃんとおばあちゃんの、「ありがとねえ。」とよろこんでいるかおを見てぼくもうれしかったです。きびもお父さんから水をもらって、「ありがと。」と言っているように見えました。

まい日あついい中、水かけをしているお父さんは一ども「あついい」とは言いませんでした。本当にすごいと思いました。ぼくは、きび車がかっこいいと思っていました。でも、ぼくのお父さんもかっこいいです。またお手伝いをします。

※原文のまま一部抜粋して掲載しています。